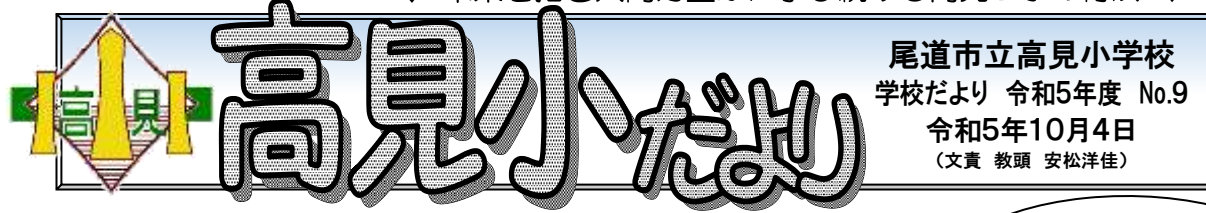


◇ 未来を拓き人間力豊かに学び続ける高見っ子の育成 ◇



尾道市立高見小学校  
学校だより 令和5年度 No.9  
令和5年10月4日  
(文責 教頭 安松洋佳)

## 新しい発見と、とびきりの思い出。

6年生が修学旅行に行ってきました



バスの中でも元気いっぱい！

9月21日(木)・22日(金)、6年生が京都・奈良・大阪へ1泊2日の修学旅行に行ってきました。出発前は9月末にも関わらず連日30℃超えの猛暑が続き、また、近畿地方は雨の予報もある中での出発でしたが、幸いにして見学中はほとんど雨に遭わずに(ホテルに入った後大雨になりびっくりしましたが…)、楽しく思い出に残る旅ができました。

京都では二条城、金閣、清水寺、奈良では東大寺、法隆寺と、著名かつ貴重な文化財をまのあたりにし、直に触れることで実感を伴う学習ができました。西陣織体験では、手織りのテーブルセンターを上手に作り、お土産として持ち帰りました。また、清水寺参道の坂道ではたくさんの観光客に驚きながらも観光都市京都の雰囲気をつぶりと味わいました。東大寺では定番の「鹿せんべい」を手に、慎重に(?)鹿たちにアプローチしていました。



二条城の「うぐいす張り」。何事も自分で確かめねば…。



金閣。くもり空でもピカピカ輝いていました。



西陣織会館で織物体験。みんな上手でした。

また、どの見学地でも子供たちは持ち前のコミュニケーション能力を発揮。元気よく爽やかなあいさつはもちろん、外国からのお客さんと見るや、笑顔で「Hello!」「Where are you from?」などと積極的に話しかけ「Oh! Good-English!」とお褒めの言葉を頂くなど、ガイドさんが驚くほどの積極性を見せてくれました。

また、一人一人が役割を果たそうとする姿や、友達を思いやり、助け合う姿も随所に見られました。修学旅行の目標に掲げた「新しい発見」。きっと見学した「場所」や「モノ」だけでなく、自分たちの中にも「新しい発見」ができた修学旅行だったのではないのでしょうか。

厳しい残暑をもたらしていた太陽が沈み、すっかり暗くなった高見小に、6年生が帰ってきました。「疲れた～あ」と言いながらも、どの子も輝くばかりの笑顔でした。この子たちならではの「宝物」を得て、また一段と成長した姿だと思えました。

関係の皆様、保護者の皆様には大変お世話になりました。おかげさまで、子供たちにとって本当に心に残る2日間とすることができました。この旅行のためにご尽力くださった全ての皆様に改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。



清水参道で買い物。お店も人も多すぎてどうしよう!?



「大」仏殿。想像以上に「大」きい!



法隆寺。「柿食えば…」の歌碑の前で「なるほど…」



解散式。すべての人に感謝。「ありがとうございました。」



最後の見学地は海遊館。もっと旅が続くといいのに。

# たくさんの、びっくり。

1～5年生は、  
社会見学に行きました。



動物園。アクリル板の前にはトラ！「うわあ、すぐそこに！」



メモもしっかりと。「おっと、これも書いておこう…」



びんご運動公園。「みんなで遊ぶと楽しいよ！」



歴史博物館。説明をしっかりと聞きます。

9月29日（金）、今度は1年生から5年生は社会見学に行きました。（6年生はこの日は学校に残って通常授業です。）

1・2年生は「福山市立動物園」と「びんご運動公園」に行きました。動物園では色々な動物が次々と現れ、興味津々。明るい日差しの元でゆっくりと歩くキリン、シマウマ、ソウ。鮮やかな色彩のインコやフラミンゴ。そして厚いアクリル板越しとはいえ、目の前で動き回るゾウガメやワニ、トラやライオンを見てびっくり。それでもすかさず気付いたことをメモする姿に感心しました。びんご運動公園では広い敷地とさまざまな遊具で友達と仲良く笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごしました。

3・4年生は福山市に行き、広島県立歴史博物館、福山城公園、そしてJFEスチール西日本製鉄所福山地区を見学しました。

歴史博物館では、芦田川の中州に埋もれた中世の町として全国的に有名な「草戸千軒町遺跡」を復元したコーナーを中心に、瀬戸内地域の昔の人々の生活をたどりました。博物館に続いては、すぐ隣にある福山城公園に移動し、築城から400年を迎えて再整備された天守や、築造当時の姿を残す伏見櫓（ふしみやぐら）筋鉄御門（すじがねごもん）などを見学しました。

昼食の後はJFEスチール福山工場に移動。



昔の地図を見えています。「ここはもしかして…」

驚くほど広い敷地を巡りながら、私たちの暮らしを支える「鉄」が作られる様子を見学しました。期待していた圧延工程は工場の都合で見学できませんでしたが、全国で2箇所しか作られていない新幹線のレールになるH鋼や、作られた鉄が運ばれていく様子などを見せて頂くなど、貴重な体験ができました。

5年生は広島市へ行き、平和記念公園・資料館と又マジ交通ミュージアム（広島市交通科学館）を見学しました。平和公園では慰霊碑に手を合わせ、この日のためにみんなで作った折り鶴を「原爆の子の像」に捧げました。その後はグループごとに公園内の碑や像をめぐるあと、資料館の展示を見学しました。公園内には他県・他市町から見学に来ている小中学生・高校生や外国からの訪問者が多く見られました。資料館の展示に熱心に見入る人々の姿から、「ヒロシマ」の地が発し続ける平和へのメッセージを子供たちなりに感じ取ったようでした。交通科学館では、都市交通が人々の暮らしを支えている様子を学び、変わり種自転車の運転も体験することができました。

残暑が続く中での見学となり、また長距離のバス移動もありましたが、どの学年も元気に見学を終えることができました。保護者の皆様には多くのご準備、ご配慮を頂き、ありがとうございました。

施設の性格は様々ですが、子供たちには、「たくさんの方々が私たちの暮らしを支え、潤い豊かにするための仕事をされ、様々な工夫や配慮をしてくださっていること」を感じ取り、感謝することのできる人に育ってほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、これからもどうぞよろしく願いいたします。



福山城の鉄板張り天守。「おシロ」じゃなくて「おクロ」？



平和公園に到着。「外国の方も多いな…」



みんなが作った折り鶴を「原爆の子の像」に捧げました。



交通科学館。「交通ルールはちゃんと守るよ！」

